

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 1290401197 | | |
| 法人名 | 株式会社 SOYOKAZE | | |
| 事業所名 | ちば若葉グループホームそよ風 | | |
| 所在地 | 千葉県千葉市若葉区若松町531-642 | | |
| 自己評価作成日 | 令和5年10月20日 | 評価結果市町村受理日 | 令和6年1月11日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/ |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと | | |
| 所在地 | 千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7 | | |
| 訪問調査日 | 令和5年11月13日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

若草では、お客様がご自身でできることはお手伝いをお願いし、できることを継続、向上していける自立支援を目指しています。お客様のお気持ちや考えを理解し、寄り添った支援を提供することで安心・安楽な生活を送ることができると考え、職員間で情報共有や支援の方法を話し合い、工夫しながら日々の支援を行っています。

また、いつでもご家族様が面会に来られるような環境作り、雰囲気作りを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念に「目配り・気配り・思いやり」を掲げ、利用者の気持ちに寄りそう支援に努めている。利用者が急に立ち上がったても「座ってください」と制止するのではなく、「何かお困り事がありますか」と優しく言葉かけをしている。訪問調査時には、利用者個々が穏やかに過ごしている様子を見ることができた。身体拘束をしないケアの実践に取り組んでおり、マニュアルの整備、年2回の研修を実施している。毎月の全体会議でも、声かけの仕方などが身体拘束に該当していないか、事例検討をおこなっている。コロナ禍で外出が難しいなか、ホーム内で「ブドウ狩り」のレクリエーションを企画するなど、工夫を凝らしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28) | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 地域の方々に信頼されるセンターを目指すため、外での作業中やお客様との散歩中にあった方々には挨拶を元気に行っています。事業所理念につきましても、食堂に掲示し、全体会議などでも確認し、意識をもって支援しています。 | 「目配り・気配り・思いやり」を理念とし、毎月の全体会議で唱和している。利用者が急に立ちあがった場合は、「危ない」と制止せず、「お困り事がありますか」と声をかけするなど、寄りそう支援に努めている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会の地区担当の方とのやりとりにて、地域の状況などの確認をしています。 | 自治会に加入しており、コロナ禍前には祭りや防災訓練に利用者に参加していた。地域の情報は回覧板から得ている。ホームのパンフレットは地域包括支援センターなどに配布し、情報提供している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | グループホームではどのような生活を行い、どのような支援を受けることができるのか、パンフレットを作成し、あんしんケアセンターや各居宅に配布させていただいたり、見学に来られたお客様に説明を行っています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議やアンケートなどで頂いたご意見は検討を行い、サービス向上に努めています。 | 地域包括支援センター、町内会、家族などが参加している。事前に参加者へ職員対応やホームへの要望のアンケートを実施し、会議内で伝えている。自治会からは「イベントの案内がしたい」との声が寄せられている。 | 運営推進会議には町内会からの参加がみられているが、民生委員は不参加となっている。今後は地域の状況を把握している民生委員に、参加を呼びかけることも期待される。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 変更があった際や分からないことがあった際には相談や確認をしています。 | 日頃から市の担当課とは、分からないことなどがあれば、相談や確認をしている。ホームの利用料改定の際には、担当課と相談しながら、誤りのないように対応した。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束等の適正化の為の研修を年2回及び新規採用時に実施し、全体会議にて行った支援を振り返り全員で検討し、身体拘束防止に努めています。また事業所内にマニュアルを設置いつでも閲覧できるようにしています。 | 身体拘束をしないケアについてマニュアルを整備し、研修も実施している。マニュアルはイラストを交え、わかりやすく解説されていた。全体会議では、利用者への声かけの仕方など気になる支援について、振り返りをおこなっている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 身体拘束と共に研修を年2回及び新規採用時に実施しています。全体会議にて該当する行為がなかったか、見かけなかったかを振り返り検討を行っています。また事業所内にマニュアルを設置し、いつでも閲覧できるようにしています。 | | |

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 千葉市高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修に参加した職員が全体会議の中で学んだことを共有しています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には十分説明させていただき、不安や疑問がある場合には納得、安心していただけるまで説明を行い、入居後でもいつでも確認ができるようにしています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | お客様が来所された際には不安や疑問、要望をうかがっています。相談窓口を設置し、設置していることを必ず説明、お伝えしています。 | 家族とは面会時や、介護計画の更新時などに意見や要望を聞くようにしている。「飲み物はお茶だけではなく、いくつか選択肢があればいい」という家族の意見から、コーヒーや紅茶などを提供するようになった。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 全体会議や各ユニット会議、個人面談や日々の会話等で意見を聞き、反映できるよう努めています。また、さらにより良い方向へ全体として向かえるよう、反映後も再検討を行っています。 | 職員の意見は全体会議やユニット会議、年1回の個別面談などから聞き取るようにしている。また、日頃からコミュニケーションをとるように努めている。職員の意見から、夜勤者がおこなっていたホーム内の環境整備を、早番の業務に変更している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個人面談を行ったり、日々の職員の状況を見て随時話す機会を設けています。契約更新時には、日々の努力や実績の評価を給与に結び付けられるよう検討、申請をしています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 各職員に見合った内外の研修への参加を後押しし、学ぶ機会を設けています。また、研修に参加した職員が学んだことを全体会議などで他の職員と共有し、より良い支援ができるよう職員一人一人が自己研鑽に励んでいます。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 法人内の内部研修に参加して交流を図り情報交換しています。また外部研修に参加した際には情報交換を行い全体会議等で他の職員と情報共有ができるよう努めています。 | | |

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 環境や生活に慣れていただく為、声掛けや傾聴を行い、他のお客様との関係づくりがスムーズに行えるよう支援を行い、不安なく過ごしていただけるよう努力しています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | どのようなことでお困りなのかを丁寧に傾聴し、施設ではどのようなサービスが受けられるのかを納得のいくまで説明することで安心していただいています。入居後につきましても面会時などにご家族様の思いを傾聴しています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | お客様がどのような支援を必要としているのか、施設全体で良く観察し、情報を共有してお客様の意思が尊重できるよう努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | お客様をよく観察し、お客様の生活リズムに合わせてお客様ができることを継続、向上していけるような支援を行えるよう努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様と一緒にお客様を支えていき、最後までお客様とご家族様の絆を大切にできるような支援を行っています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族様の協力のもと、お墓参りや外食、病院受診など可能な限り支援を行っています。 | コロナ禍においては制限していたが、現在は換気に気をつけながら、居室での面会を可能としている。家族や昔馴染みの知人が訪問したり、地域でおこなわれるクリスマス会に毎年参加している利用者もいる。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | お客様同士が関わり合いを持てるよう環境を整えたり、職員が間に入りレクやお手伝いをいただいています。また、お客様同士がお互いを必要と思えるような関わりができるよう支援しています。 | | |

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居後でもいつでも相談ができるような体制を整えています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | お客様が困っていることがないか、傾聴や様子観察を注意深く行い、意思が汲み取れるよう努めています。ご自身で意思を伝えることができないお客様については、表情や身体の動きを注意深く観察し、意思を汲み取ることができるよう努力しています。 | 日々のかかわりの中で、声かけ時には、ゆっくりと聞きやすい言葉で聞いて、動作や声質で利用者の意思を確認している。入居時のアセスメントで得た情報は職員間で共有している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人様やご家族様、今までに利用していた施設や病院から情報をいただき、職員間で共有しています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一日のリズムや様子などを職員間で共有できるよう申し送りを行っています。心身状態について緊急性の高い情報に関してはカンファレンスを開き、職員間で話し合いを行っています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 職員からの情報やご本人様の様子や思い、ご家族様の思いをしっかりと把握し、それぞれの意見を反映し課題とケアの一致が図れているか、不足していることはないかを見極めて介護計画を作成、実践しています。 | 来訪時などに家族の思いや意見を聞いている。全体会議やユニット会議で話し合い、家族や利用者の意向が反映された介護計画書をケアマネジャーが作成している。半年に1回、急変時は随時に見直しをし、家族にも説明をしている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | タブレット端末を使用していつでもどの職員でもお客様の日々の様子が記入、閲覧できるようにしています。情報の共有を行い、記録をもとに介護計画の作成、見直しをしています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | お客様の心身の症状の変化に合わせた支援を柔軟に行えるよう、変化があった場合はお客様やご家族様、関係者と話し合い支援を提供しています。 | | |

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域で行っている催し物にいつでも参加ができるように取り組んでいます。訪問理美容や訪問マッサージなど、個々のお客様に必要な資源の利用を提案し、安心安楽に生活ができるよう支援しています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | お客様、ご家族様の希望を確認し、かかりつけ医を選んでいただき対応しています。適切な医療を受けられるよう、かかりつけ医との関係性を築けるよう努力しています。 | 協力医の往診が月2回あり、緊急時の体制もできている。契約の訪問看護が週1回、健康管理や爪切りをおこなっている。専門医の受診は、家族対応であるが、難しい場合は職員が同行し、情報を共有している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | お客様の小さな変化や些細なことでも相談を受けていただいています。適切な看護や処置を受けることができるよう取り組んでいます。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | お客様がスムーズに入院できるよう、情報を提供しています。また、退院時には医師や看護師、ご家族様と連携をとり、情報共有を行って入院前の生活が取り戻せるよう取り組んでいます。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 医療や看護と連携をとり、お客様の体調や日々のご様子を細かくご家族様に伝えています。必要であれば往診時にご家族様に立ち会っていただき、対応が適切に行えるよう努めています。 | 看取りに関する指針を作成しており、職員に周知している。家族には契約時に説明をおこなっている。ホーム内での研修に職員が参加している。まだ看取りの事例はないが、他のホームの事例を参考に、マニュアルの確認もおこなっている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時に備えて、対応方法の研修や情報を共有し、掲示物等の活用をすることで有事には迅速に対応ができるよう努めています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 昼夜問わず、災害時に適切な行動がとれるよう、定期的に防災訓練を行っています。地域の避難訓練に参加するなどし、施設への協力をお願いしています。 | 火災を想定した避難訓練を利用者も参加して実施し、避難経路の確認をおこなった。訓練は年3回を予定している。1階倉庫には、3～5日分の食料・飲料水を備蓄している。 | 今後は、近隣住民との連携の強化及び夜間想定訓練や職員全体が参加が期待される。ホームに即した事業継続計画(BCP)、備蓄品の一覧作成、試食なども促される。 |

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | お客様の性格や生活歴、意思を尊重し、お客様を思いやる言葉使い、お声掛けを行っています。 | 職員は利用者の尊厳を大切にし、声かけの際は敬語を使っている。声かけの仕方について、ミーティングで管理者・職員が共に考えている。個人情報の管理は、タブレットにパスワードをかけ、書類は鍵のかかる書庫に保管している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | いつでも相談や意見ができる環境を提供しています。また、言葉にできない意思や希望を汲み取ることができるよう、日々の様子を注意深く観察し情報共有を行っています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | お客様のその時々気分や体調に合わせて、その日の過ごし方を選んでいただいています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 季節や好みに合わせた洋服をご家族様と協力しながら提供し、好みのものや馴染みのあるものを着用できるよう支援しています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員と一緒に食事の準備や片付けができるよう、お客様のできることできるように支援しています。季節行事や食事レク、おやつレクを取り入れる等して、食事を通じて季節を感じていただけるよう支援しています。 | 委託業者が食材を配達し、職員が調理している。栄養バランスの取れた献立が提供されている。利用者は持てる力に応じ、下拵え、食器洗いをおこなっていた。リクエストを反映し、普段と違う食事を楽しむこともある。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | お客様の嗜好を理解し、食べやすい物、飲みやすい物を栄養のバランスを考えながら提供しています。医療と連携を取りながら食事量や水分量を管理しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | ご自身で行える方には声掛け・誘導や確認を、お客様の状態に合わせ歯ブラシや口腔スポンジを使用し口腔内の清潔が保てるよう支援しています。義歯は定期的に洗浄消毒を行い、必要な方には訪問歯科を利用し口腔状態をケアしています。 | | |

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 日々の排泄パターンや習慣を職員間で共有し、必要な方には声掛け誘導を行っています。 | 排泄記録を職員間で共有している。利用者の自尊心に配慮しながら、声の大きさや声かけの仕方に留意している。できる部分は自分でしてもらうよう促すなど、自立に向けて支援している。夜間帯は、睡眠を重視し個々に対応している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 身体を少しでも動かしていただけるよう、毎日の体操レクの提供やお客様の嗜好に合わせた飲み物を細目に提供することで予防に取り組んでいます。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | その日その時の気分や体調に合わせた入浴ができるよう支援しています。ご自身で手の届かない部分につきましてはお手伝いを行い、清潔を保っています。 | 週2回の入浴支援をおこなっている。入浴をしたくない利用者には、時間や職員を変えるなどの工夫をしている。浴室と脱衣室の温度差がないように気をつけている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中はレクリエーションの提供やお手伝いをしていただくなどして夜間ゆっくり睡眠が取れるよう支援しています。お客様の体調に合わせて日中でも臥床時間を設けるなどして個々に合わせた支援をしています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | お客様の様子などを細かく医療に報告し、往診時や処方箋変更時に職員間で情報共有を行っています。服薬時には職員二人以上で確認を行い、確実に服薬が出来るよう支援しています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 合唱や体操、散歩などのレクリエーションを提供し、テーブル拭きや食器洗い、洗濯物たたみなど、できることを役割として持ってもらえるよう支援しています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | ご家族様の協力のもと、希望に沿った馴染みの場所などへの外出ができるよう支援しています。 | コロナ禍で制限が厳しかったが、近くのスーパーに車で買い物に行けるようになった。イベントとして、屋内でのブドウ狩りをおこなった。家族との外出の制限はしていない。今後は、地域のイベントに参加する予定である。 | |

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 必要なものがないか、お客様と確認を取りながら支援しています。希望のものがあればご本人様に選んでいただき、ご家族様や職員にて代理購入しています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族様といつでも電話のやり取りができるよう支援しています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節を感じる事が出来るよう、季節や時期にちなんだ掲示物をお客様と一緒に作成、掲示しています。刺激が強くないよう照明の明るさや色に配慮し、室温、湿度も空調や加湿器を使用して調節しています。 | 共有の空間は整理整頓されており、季節を感じる掲示物が飾ってあった。ソファもあり利用者がくつろぐ様子が見られた。食事時には音楽が流れており、食事に集中できる空間作りがされていた。換気は終日おこなっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ホールやベンチで他のお客様とお話ができたり、個々の居室で談笑できるなど、お客様の思いに合わせて施設内、居室を利用していただけるよう支援しています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご家族様の協力のもと、馴染みの家具やインテリアを入居時に用意していただき、使いやすいよう配置しています。 | 各居室には手作りの表札があり、馴染みの品や思い出の写真が飾られていた。自宅にいたときと同じような居室づくりを心掛けている。職員が換気や居室清掃をおこない、できる利用者は共におこなっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 施設内を安全に移動できるようテーブルや椅子の配置に配慮し、なるべく自由に活動できるような環境を整え、自立した生活が送れるよう支援しています。 | | |

【評価機関】